

ID: M1810

助成受給団体名	ちゃいるどねっとじゃぱん チャイルドネットジャパン
事業の名称	笑顔を広げる3世代、安全・安心街づくり事業～
実施期間	2018年 8月 1日 ～ 2019年 7月 31日
<p><b>実施した事業の内容</b></p> <p><b>防犯ブザーの配布</b>                  普段、子ども図書館に来館する子どもたちへ、防犯ブザーを手渡ししました。多くの子どもたちは、1つは持っているのですが、例えば遊びに出かける時のカバンにつけられる！といった子や、ブザーが、ランドセルにあたって、誤作動を起こしやすく、そのため、大人が思っているよりも壊れやすいこともあり、喜んでくれました。身に着けたいと思えるように、かわいいインコ型にしたおかげで、ほとんどの子どもが、実際につけてくれています。その他にも、後述する安全講習会に参加した子どもや、兄弟にも渡すことができ、想像以上の効果を得ることができました。</p> <p><b>安全講習会</b>                  「いかのおすし」という警察の呼びかけの言葉を使い、地域の大人と子どもが集まる場を作りました。「安全講習会」では、子どもも大人も、楽しくないので、話をするだけでなく、クイズやゲームなど、お互いに交流できる機会を作りました。すると、よりスムーズに子どもと大人がなじみ、顔を認識できるくらいにまでなりました。普段は、子供世代と交流のない、高齢者の方も、まるで、自分の孫のような気持ちになれました、といった声もいただきました。</p>	
<p><b>事業の成果</b></p> <p><b>防犯ブザーの配布</b>                  子どもたちに手渡しをする際に「みんなの安全のためにと、買ってくれた人たちがいます。だから、大切に使ってね」と言いながら渡しました。どんなに小さな子どもでも、きちんと説明をすると理解を示してくれます。もちろん、防犯ブザーを使うような事態が起こらないことが一番ですが、「もらえてラッキー」ではなく「大切に使おう」という意識を持たせることができ、今は、お守り代わりにランドセルやカバンに大事につけてくれています。</p> <p><b>安全講習会</b>                  地域の安全の原点は、地域の大人が守ることだと思っています。安全講習会では、日ごろの挨拶を大切に、と呼びかけました。登下校で、子どもたちとすれ違くと、顔のわからない子どもでも、必ず声をかけます。すると、子どもの安心感につながり、地域に安全な空気が流れるからです。子どもたちへの意識を高め、普段の生活でも、子どもたちへ気にかけてもらえるきっかけとなりました。</p>	
<p><b>今後の課題</b>                  継続的に、地域の皆さんが集まる機会を作ること、長期的な安全・安心な地域づくりをしていくことが、今後の課題と思っています。</p>	

